

## 令和4年度第1回高知県アニメプロジェクト推進会議議事要旨

- 1 日 時 令和4年10月11日（火）10:00～11:20
- 2 場 所 高知県庁正庁ホール（高知市丸ノ内1丁目2-20）
- 3 出席者 高知県アニメプロジェクト推進会議委員 15名（代理出席を含む）  
事務局（産業振興推進部ほか）10名  
他、高知アニメクリエイター聖地プロジェクト実行委員会関係者 等
- 4 議 事 高知県アニメプロジェクトの概要及び高知県の取組について  
高知アニメクリエイター聖地プロジェクトの取組について  
意見交換
- 5 議事の経過の概要  
各取組について説明後、質疑等意見交換を行った。

以下、主な意見等

### ○プロジェクトについて

- ・まずはできることを着実に進めていくことが3年後、5年後、10年後、20年後に必ずつながっていくのではないかと思うし、産業の基盤にしていくという意味でアニメの活用というのは非常に有意義なものであると考える。
- ・各種イベント等について、1回やって終わりではなく、これを続けて行くことで高知の文化につながっていくのではないか。
- ・なぜ高知でアニメをやるのか、他県と差別化を図っていかなければならない。行政の協力を得て全体を進めているところは他県と異なると思うが、それ以外にも高知でアニメプロジェクトをしていることをうまく対外的に伝えていかなければならない。
- ・高知にはマンガ文化があること、民の分野から盛り上がっていることと多彩な県内外の関係者が支えてくださっていること、小さい県であるからこそ小回りが効いてアニメクリエイターの皆さんに優しいということなどが強みと考える。

### ○プロジェクトの進捗管理について

- ・産業振興計画では通常、KPIとして毎年のマイルストーンを掲げ、PDCAを回していくという流れがあるが、本プロジェクトは一定の作り込みと投資が必要なので、そういうKPIはなじまないのではないか。KPIが一人でも達成できていないことをもって、このプロジェクトが勢いを失うことがあってはならないと思うので、定量的目標とともに定性的目標も掲げていただきたい。
- ・本プロジェクトは壮大なもので、かなりの長丁場でみんなで力を合わせていかなければならないので、PDCAを回しながら次に何をしなければならぬか考える必要がある。

### ○プロジェクトと産業界や行政との連携について

- ・本プロジェクトによって人や地域との繋がりを強めることができるとも楽しいと思うし、高知県でないとできないと思う。メディアも力を合わせてこのプロジェクトを全面的に応援したい。

- ・なぜ高知でアニメかということ、なぜアニメで活性化を図っていくのかということなどを県民にもアピールしていただきたい。商店街もどんどん使っていただきたい。
- ・高知市にアニメクリエイターの大きな拠点ができる計画があるので、他の市を含めて連携していきたい。
- ・行政のPRについてもアニメーションを活用する流れがある。地元アニメ関連企業がいることでいろんな連携ができると期待している。
- ・高知県内の各自治体にはそれぞれ個性があり、色々と特徴がある。その特徴をどうやって生かして活性化につなげるかということを考える必要があるし、これからは産業の担い手の世代が減ってくるので、地方の個性を守りながらアニメという創造性のある文化を地方創生と結びつけていきたい。

○若年層へのアプローチ等について

- ・本プロジェクトのカギになってくるのは、いかに若い人を巻き込むかということ。今のZ世代を中心とした若い人達はほとんどテレビを見ていない。高等教育機関に通う世代よりももっと若い人を巻き込んで、ネットをうまく使ってPRしながら若い人の意見を取り入れていくことが一つの大きなカギになるのではないか。